アースガーデンみやづ2015開催要領（案）

Ｈ27.9.7

開催趣旨

アースデイは、「地球のために行動する日」です。地球に感謝し、美しい地球を守る意識を共有する日です。

私たちの暮らしは、化石資源というエネルギーを大量に消費し、大変豊かな生活を手に入れることができました。

一方で、この豊かさが人と人とのつながり、人と自然とのかかわりや感謝の思いを断ち切ることになりました。例えば、地域資源である竹は昔から、建築・造園・工芸、また、農具や漁具、生活用具として広く利用されてきました。それが、今やプラスチックなどの代替品の進出や、海外からの安い材料輸入の増加などによって利用されることが少なくなり、竹林は放置され、里山は荒廃し、獣害や地域景観を損ねるなど、大きな問題となっています。

私たち人間は、他の自然界の動植物と同じ生命体で、地球に住まう一住人にすぎません。私たちは、自然の恩恵を共有し、これからもずっと人と自然が上手く付き合える社会の構築を図っていく必要があります。

そのためには、地域の人と人とのつながりを強めることが大切です。新たな仲間や出会いづくり、そして自然との共生について、次世代の子どもたちのためにできることを、田舎暮らしの現場から、ゆっくりと楽しみながら、語り、学び、考え、行動できる日・アースガーデンとして開催します。

テーマ　　『未来の子どもたちへつなげよう！』

主　　催　　アースガーデンみやづ2015実行委員会（みやづ環の地域づくり推進ネットワーク、一般社団法人 エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議）

後援(予定)　京都府、京丹後市、伊根町、与謝野町、丹後の豊かな環境づくり推進会議、京都府地球温暖化防止活動推進センター

協　　力　　ＮＰＯ法人Ｃ・Ｃ・Ｃ富良野自然塾

日　　時　　平成27年10月24日(土)午前10時から午後４時まで

25日(日)午前10時から午後４時まで

会　　場　　京都府立丹後海と星の見える丘公園　メイン会場：セミナーハウス周辺

　　　　　　※雨天実施(一部規模縮小)

参加料　　無料　※飲食、物販料金は購入者負担

入場予定者数　　延1,000人

○　ステージ部門

□トークライブ（講演）

　・パート１

　金子勝氏（経済学者、慶應義塾大学経済学部教授）

　テーマの方向性：これからの環境(資源)と経済の好循環について

　　　　　　　　　～宮津における地域活性化の可能性について～

　　・パート２

藻谷浩介氏（日本総合研究所調査部主席研究員）

　　　テーマの方向性：子どもたちに受け継いでほしい宮津

　□トークコーナー

　　・パート１

富良野自然塾のトーク（内容はお任せ）

　　・パート２　　三たんコネクトのパネルディスカッション

タイトル：～地球育でつながろう！

三たんの自然ミュージアムから‘絆’と‘学び’を考える～

　　・パート３　　食のマイクパフォーマンス

金丸弘美氏と地元高校生、地産地消推進店、Ｅライフスタイル推進部会とのセッション

□音楽ライブ

□表彰式

・阿蘇海等環境改善啓発ポスターコンクール及みやづ環境絵日記コンクール

○　フィールドプログラム

□　森歩き（海と星の見える丘公園企画）

□　森林鉄道　子どもたちに大人気の手作り森林鉄道が公園内を走ります。

○　ものづくり体験

□　高齢者から子ども達へ伝える遊び（お手玉など）

□　竹筒ごはん（竹加工＋炊飯）

□　廃油キャンドルづくり

□　薪割り体験

□　竹細工教室

○　展示部門

　□　エネルギー関連コーナー

・薪ストーブ、小水力の取組（循環型エネルギー社会研究部会）

　　・市民共同発電所、子ども向け教育プログラムの説明（エコ・ファブリカ）

　　・ヒートポンプ（海洋高校に打診中）

　□　地球環境コーナー

　　・阿蘇海等環境改善啓発ポスターコンクール応募作品展示（宮津市）

　　・みやづ環境絵日記コンクール応募作品展示（宮津市）

　　・地球温暖化の現状や省エネ器具等の紹介など（京都府温暖化防止活動推進センター）

・阿蘇海の現状と改善の取組（阿蘇海環境づくり協働会議）

　　・他地域の事例の展示紹介、相談ブース（エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議）

・みやづ環の地域づくり推進ネットワークの紹介

　□　田舎暮らしコーナー

　　・田舎暮らし相談（みやづＵＩターンサポートセンター）

　□　宮津の情報発信コーナー（宮津メディアセンター）

○　飲食部門

・楽食楽宴グループ

・大根ご飯の振る舞い

○　環境ビジネス部門

日産野田川販売(株)、京都トヨペット(株)峰山店、京都三菱自動車販売(株)峰山店によるＥＶ車・ＰＨＶ車展示、試乗会

○　その他

　□　金丸弘美氏の食のワークショップセミナー（要調整）